



令和 6 年 10 月 1 日

朱色に染まる ヒガンバナ開花！

河川環境楽園木曽川水園下流域では、ヒガンバナが見頃を迎えています。

ヒガンバナは、下流域の水辺沿いと中の島、棚田周辺に植えられており、この時期は辺り一面を朱色に染め上げてとても美しい景色を作り出してくれます。

ご多忙中とは存じますが、季節の話題として是非ご取材並びに記事掲載のほど、よろしくお願い申し上げます。



令和 6 年 10 月 1 日撮影

■ヒガンバナについて

ヒガンバナ科ヒガンバナ属の多年草

ヒガンバナの名は、秋の彼岸の頃に花が咲くことに由来する。曼殊沙華(マンジュシャゲ)とも呼ばれ、原産地は中国。田のあぜ道や土手、人家の周辺、墓地などに群生することが多い。花茎をまっすぐ伸ばしたその先に朱赤色の花を多数集まって咲かせる。花卉は強く反り返り、葉は花後に出し春には枯れる。有毒植物だが、鱗茎をすりつぶして水でさらせば食用になる。飢餓の時に利用された。

◆お問い合わせ先◆

河川環境楽園 自然発見館 担当:花村、森
〒501-6023 岐阜県各務原市川島笠田町 河川環境楽園内
電話:0586-89-7023 FAX:0586-89-7021



自然発見館 HP



河川環境楽園
ポータルサイト